

質問 国枝議員（自民・揖斐郡）令和7年10月2日（木）

1 アグリパーク構想の全県展開について

答弁 知事

今後、本県におきましても農業従事者の減少が見込まれるなか、県民の皆様に安全・安心で美味しい食を安定的に供給していくためには、従来の「専業を基本とする大規模経営体」を中心に地域農業を担う構造から、それ以外の方々も、兼業や副業など多様な形で、共に農業を担っていく「ハイブリッド型」構造へ転換していくことが必要と考えております。

アグリパーク構想は、こうした認識のもと、農村地域内の非農家や都市住民など多様な主体が、気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学ぶことができるスタートアップの「場」を設け、その延長線上で、新たに農業に参入していただくことを視野に入れた、農業普及のための構想でございます。

その具体的な形態につきましては、これまでも申し上げてまいりましたように、特定の地域に、決まった形態で県が設置するのではなく、意欲ある主体により、地域の実状や課題、農業にチャレンジしたい方のニーズなどに即した形で設置され、多様な農業者を育てていく仕組みと考えております。と従来も説明してきましたが、こうしたアグリパーク構想の実現に向けましては、まずは、本県農業が直面する課題に対応した創意工夫あふれる取組を支援するなかで具体的な姿を描き出していきたいと思っております。そこでの実績を踏まえて横展開が可能な重点推進モデルを構築するとともに、アグリパークから本格的な農業へ円滑にステップアップできるよう、農地の幹旋や機器の共同利用など参入障壁の引き下げにつながる支援スキームについても、検討していきたいと考えております。

今申し上げました重点推進モデルの構築に向けましては、現在、どのようなモデルが必要か、新たな農政の基本計画を議論する中で出された意見や提案を踏まえて検討しているところでございますが、3つ要素があります。

現時点では、まずは一つ目として、都市部からの移住者が、有機農業を行いながら他の職業にも従事できるといった、いわゆる「半農半X」農業をやりながら他の仕事もするというものなど「中山間地域に適した農業参入モデル」。これが一つです。二つ目は、地域の消費者が食べたいものをつくり、提供する「直売所を中心とした地域活性化モデル」が、二つ目です。もう一つは、これまで当たり前だった農業の形態を見直しまして、仕事の切り出しなどによって、副業希望者の多様なニーズに応える「農業版働いてもらい方改革モデル」などを想定しております。

こうした重点推進モデルとなる取組を、農業が本格化する来年春から開始できるよ

うに、年度内に公募の形式で企画の募集を行う予定です。既にいくつかの提案が私の所に来ております。

また、本格的な農業参入に当たって、障壁を引き下げるため、気軽に農地を借りることができる環境づくりを進めるほか、設備投資のハードルを下げるいわゆる「居抜き型」の経営継承や農業機械のシェア、就農ニーズに合わせた技術サポートの仕組み作りなども進めて参りたいと考えております。

再質問 答弁 知事

アグリパークにつきましては、着任初期の段階の議会答弁の後も、かなり多くの方から、すぐにでもやりたいという声は沢山ありました。

その中でどういう形でやるのか議論する中で、これまで御説明したように、特に農業ですから県の方でこのパターンと決めてしまうよりも、地域によって、それぞれ状況が違う、作物が違う、環境が違うということで、色々と調べてきたところでございます。

実は議員のお膝元の揖斐郡の方からも早くやらせてほしいという声が非常に沢山きております。それから高校生からもアグリパークをやりたいという声が出ておりますので、そういう点ではそれぞれ皆さんイメージしていただいているところです。

それでやり方なんですけれども、政策オリンピックの形式にするかどうかというのは、元々は、初期の段階では思っていたのですが、実は議論が進んでここまでパターンを決めてくると、政策オリンピックは課題そのものを提示して自由に提案してくださいというのですが、今お示したように、もう3パターンとか、我々もう県内を随分回りまして、ここにはこれがありそうだなというものが整理できておりますので、政策オリンピックと銘打つかはどうかはわかりませんが、議員御指摘のとおり早くイメージが湧くと、そのやり方があるんだったら、うちの地域でもできるとかです。

逆に、我々としても早く手を挙げていただいた中で、どういう支援の仕方が良いのか。何でもかんでも丸抱えでやるのか、それともここまで出来ているからこのパターンが良いのか。その中で、先ほどお示したようにそこでやりたい方のニーズに応じて「居抜き型」だったりとか、機械の共同利用だったり、また作物によって対応の仕方は変わるのかなということもありますので、それを政策オリンピックというかどうかは宿題とさせていただきながら、年度内に公募して、出来るだけ早く、具体的なイメージをお示ししたいというふうに思っております。

担当課 農政課

電話番号 058-272-1907

メール c11411@pref.gifu.lg.jp